

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約5年間（2014年1月24日～2019年1月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	資産成長コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	資産成長コース	①主として、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を通じて、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	通貨αコース	①主として、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を通じて、新興国の現地通貨建債券への分散投資と通貨のオプション取引を組合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	資産成長コース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等として、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	通貨αコース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等として、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド （資産成長コース／通貨αコース）

運用報告書（全体版）

資産成長コース	第3期（決算日 2015年7月17日）
	第12期（決算日 2015年2月17日）
	第13期（決算日 2015年3月17日）
通貨αコース	第14期（決算日 2015年4月17日）
	第15期（決算日 2015年5月18日）
	第16期（決算日 2015年6月17日）
	第17期（決算日 2015年7月17日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース）」は、さる7月17日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5620>
<5621>

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

★ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2014年 7月17日)	10,561	10	5.7	10,715	7.1	1.0	98.1	7,740
2 期末 (2015年 1月19日)	11,236	10	6.5	11,018	2.8	0.8	97.3	5,274
3 期末 (2015年 7月17日)	11,018	10	△ 1.9	11,024	0.0	1.0	96.6	3,546

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

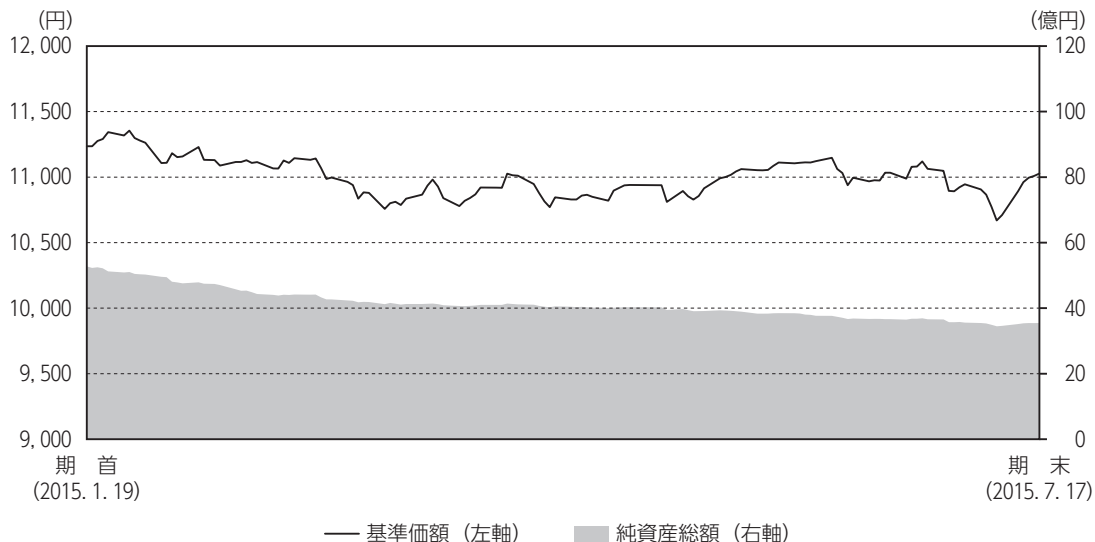
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,236円

期末：11,018円（分配金10円）

騰落率：△1.9%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

投資している債券の値下がりや投資している通貨が円に対して下落したことが、基準価額の値下がりの要因となりました。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2015年 1月19日	円	%		%	%	%
	11,236	—	11,018	—	0.8	97.3
1月末	11,262	0.2	11,168	1.4	0.9	96.4
2月末	11,144	△ 0.8	11,056	0.3	0.7	96.4
3月末	10,819	△ 3.7	10,746	△ 2.5	0.7	96.9
4月末	10,937	△ 2.7	11,063	0.4	0.8	96.4
5月末	11,112	△ 1.1	11,095	0.7	0.8	98.7
6月末	10,895	△ 3.0	10,825	△ 1.8	0.7	97.4
(期末) 2015年 7月17日	11,028	△ 1.9	11,024	0.0	1.0	96.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○債券市況

各国の政治・財政状況といった個別要因に加えて、米国の金融政策正常化への思惑を受けて金利は上昇する国が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、2015年6月の総選挙で与党が過半数の議席を獲得できず、政治的不透明感の高まりから金利は上昇しました。南アフリカでは、中央銀行が将来のインフレ率上昇に警戒的な姿勢を示したことから利上げ観測が浮上し、金利は上昇しました。ポーランドでは、2015年3月の金融政策決定会合で利下げサイクルの休止を表明したことから金利は上昇しました。

・アジア地域

インドネシアでは、経済成長が緩慢となるとの見方やインフレ圧力の高まりから金利上昇となりました。タイでは、利下げが行なわれたことから金利は低下しました。マレーシアでは、原油価格の下落が一服したのにあわせて金利も緩やかに低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、インフレへの警戒から政策金利の引上げが行なわれたことから金利は上昇しました。メキシコでは、米国債券市場の影響を受けて金利は上昇しました。ペルーでは、インフレの上昇を受けて金利は上昇しました。

○為替相場

新興国からの資金流出への懸念を背景に、対円で下落する通貨が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

政治的不透明感の高まりが嫌気されたトルコ・リラ、電力不足懸念や外部要因の影響を受けた南アフリカ・ランドが対円で下落しました。ポーランド・ズロチは、追加利下げ期待が後退したことや経済的結びつきの強いユーロの影響を受けて対円で上昇しました。

・アジア地域

経済成長の減速懸念が高まったインドネシア・ルピア、格下げ懸念が嫌気されたマレーシア・リングgitは対円で下落しました。タイ・バーツは、対円では一進一退の推移となりました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、国営石油会社ペトロブラスに関わる汚職問題や財政悪化懸念から対円で下落しました。メキシコ・ペソは、主要輸出品目である原油の価格や海外市場のセンチメントに左右されつつ対円で下落しました。ペルー・ソルは、中央銀行の介入もあったことから対円では一進一退の推移となりました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引続き、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）（以下「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」といいます。）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

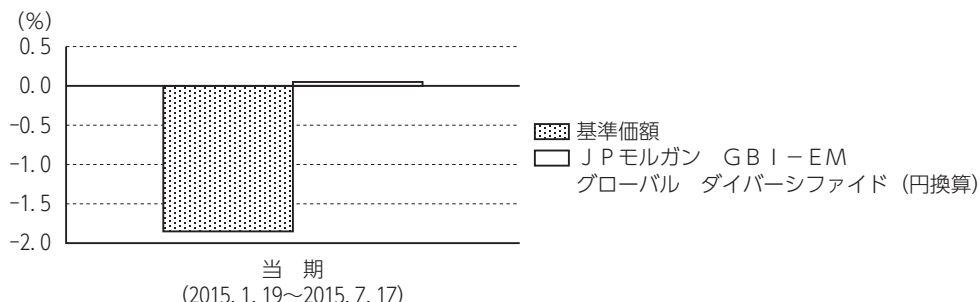
- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リンギット、タイ・バーツ、中南米地域ではブラジル・リアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで2.0（年）～2.5（年）程度としました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は10円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目	当 期	
	2015年1月20日 ～2015年7月17日	
当期分配金（税込み）	(円)	10
対基準価額比率	(%)	0.09
当期の収益	(円)	10
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,441

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	225.94円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	27.77
(d) 分配準備積立金	1,197.64
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,451.36
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,441.36

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引続き、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015. 1. 20～2015. 7. 17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	63円	0.569%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,998円です。
（投信会社）	(17)	(0.159)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(44)	(0.397)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	63	0.573	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,038.589	108,461	15,549.988	1,640,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)	15,549.988	1,640,000	105

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況
当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける期中の利害
関係人との取引状況

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
区 分	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	38,139	1,999	5.2	—	—	—
コール・ローン	1,398,017	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.2%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支
払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支
払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの
明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS	32,990.234	3,425,013	96.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	49,082	49,082	50,049

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年7月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3,425,013	95.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	50,049	1.4
コール・ローン等、その他	108,008	3.0
投資信託財産総額	3,583,070	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年7月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,583,070,481円
コール・ローン等	108,008,233
投資信託受益証券（評価額）	3,425,013,181
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	50,049,067
(B) 負債	36,139,699
未払収益分配金	3,219,163
未払解約金	9,297,595
未払信託報酬	23,459,361
その他未払費用	163,580
(C) 純資産総額（A－B）	3,546,930,782
元本	3,219,163,748
次期繰越損益金	327,767,034
(D) 受益権総口数	3,219,163,748口
1万口当り基準価額（C/D）	11,018円

* 期首における元本額は4,693,854,860円、当期中における追加設定元本額は63,548,544円、同解約元本額は1,538,239,656円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,018円です。

■損益の状況

当期 自2015年1月20日 至2015年7月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	96,353,844円
受取配当金	96,330,333
受取利息	23,511
(B) 有価証券売買損益	△ 137,655,998
売買益	36,608,236
売買損	174,264,234
(C) 信託報酬等	△ 23,622,941
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 64,925,095
(E) 前期繰越損益金	385,540,807
(F) 追加信託差損益金	10,370,485
（配当等相当額）	（ 8,941,849）
（売買損益相当額）	（ 1,428,636）
(G) 合計（D＋E＋F）	330,986,197
(H) 収益分配金	△ 3,219,163
次期繰越損益金（G＋H）	327,767,034
追加信託差損益金	10,370,485
（配当等相当額）	（ 8,941,849）
（売買損益相当額）	（ 1,428,636）
分配準備積立金	455,058,116
繰越損益金	△ 137,661,567

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	72,736,472円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	8,941,849
(d) 分配準備積立金	385,540,807
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	467,219,128
(f) 分配金	3,219,163
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	463,999,965
(h) 受益権総口数	3,219,163,748口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は7月17日現在の基準価額（1万口当り11,018円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年1月19日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えますようお願い申し上げます。

〔期中の平均基準価額（月末値の平均値）は11,004円です。〕

★ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2014年 3月17日)	9,950	100	0.5	9,917	△ 0.8	0.8	98.1	26,778
2 期末 (2014年 4月17日)	10,101	100	2.5	10,328	4.1	1.0	98.6	27,358
3 期末 (2014年 5月19日)	10,071	100	0.7	10,540	2.0	0.8	98.4	27,373
4 期末 (2014年 6月17日)	10,023	100	0.5	10,588	0.5	0.7	98.6	27,142
5 期末 (2014年 7月17日)	10,019	100	1.0	10,715	1.2	0.8	98.7	26,838
6 期末 (2014年 8月18日)	9,914	100	△ 0.0	10,648	△ 0.6	0.8	98.5	26,263
7 期末 (2014年 9月17日)	9,968	100	1.6	10,888	2.3	0.7	98.3	25,797
8 期末 (2014年10月17日)	9,673	100	△ 2.0	10,621	△ 2.5	0.8	98.2	24,525
9 期末 (2014年11月17日)	10,184	100	6.3	11,473	8.0	0.8	98.3	25,273
10 期末 (2014年12月17日)	9,779	100	△ 3.0	10,620	△ 7.4	0.5	98.6	23,393
11 期末 (2015年 1月19日)	9,838	100	1.6	11,018	3.7	0.8	98.5	22,819
12 期末 (2015年 2月17日)	9,650	100	△ 0.9	11,005	△ 0.1	0.5	98.6	20,381
13 期末 (2015年 3月17日)	9,336	100	△ 2.2	10,562	△ 4.0	0.6	96.6	18,518
14 期末 (2015年 4月17日)	9,302	100	0.7	10,907	3.3	0.6	97.2	17,530
15 期末 (2015年 5月18日)	9,283	100	0.9	11,155	2.3	0.7	98.0	16,732
16 期末 (2015年 6月17日)	9,152	100	△ 0.3	10,933	△ 2.0	0.7	97.7	15,834
17 期末 (2015年 7月17日)	9,091	100	0.4	11,024	0.8	0.9	97.5	15,230

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)を円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

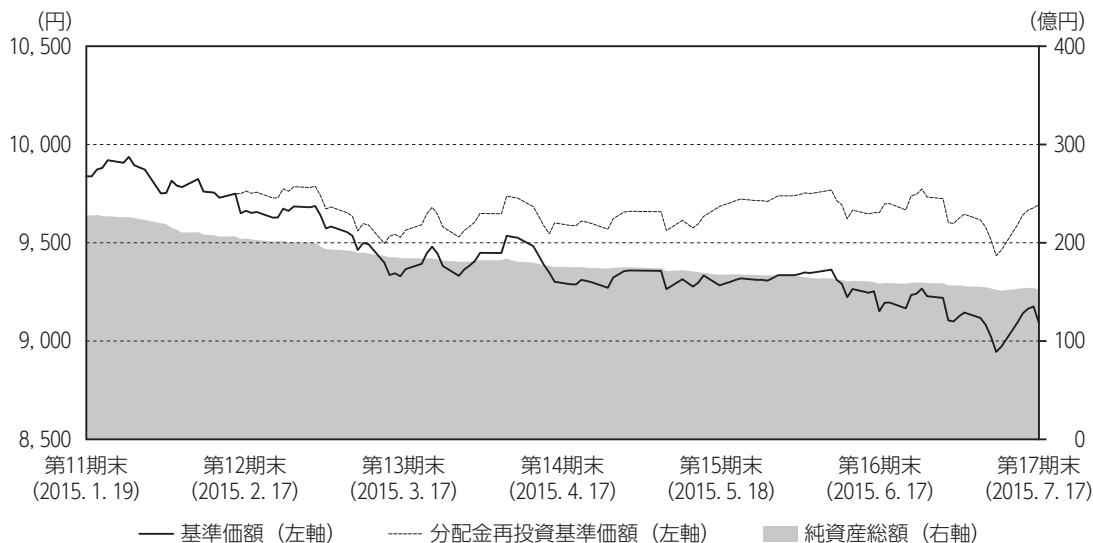
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■基準価額・騰落率

第12期首：9,838円

第17期末：9,091円（既払分配金600円）

騰落率：△1.5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

通貨オプション取引によるプレミアム収入は基準価額の値上がり要因となりましたが、投資している債券の値下がりや投資している通貨が円に対して下落したことが、基準価額の値下がり要因となりました。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第12期	(期首) 2015年 1月19日	9,838	—	11,018	—	0.8	98.5
	1月末	9,872	0.3	11,168	1.4	0.8	98.4
	(期末) 2015年 2月17日	9,750	△ 0.9	11,005	△ 0.1	0.5	98.6
第13期	(期首) 2015年 2月17日	9,650	—	11,005	—	0.5	98.6
	2月末	9,685	0.4	11,056	0.5	0.6	98.1
	(期末) 2015年 3月17日	9,436	△ 2.2	10,562	△ 4.0	0.6	96.6
第14期	(期首) 2015年 3月17日	9,336	—	10,562	—	0.6	96.6
	3月末	9,364	0.3	10,746	1.7	0.6	97.7
	(期末) 2015年 4月17日	9,402	0.7	10,907	3.3	0.6	97.2
第15期	(期首) 2015年 4月17日	9,302	—	10,907	—	0.6	97.2
	4月末	9,355	0.6	11,063	1.4	0.7	96.9
	(期末) 2015年 5月18日	9,383	0.9	11,155	2.3	0.7	98.0
第16期	(期首) 2015年 5月18日	9,283	—	11,155	—	0.7	98.0
	5月末	9,335	0.6	11,095	△ 0.5	0.7	98.2
	(期末) 2015年 6月17日	9,252	△ 0.3	10,933	△ 2.0	0.7	97.7
第17期	(期首) 2015年 6月17日	9,152	—	10,933	—	0.7	97.7
	6月末	9,105	△ 0.5	10,825	△ 1.0	0.7	96.4
	(期末) 2015年 7月17日	9,191	0.4	11,024	0.8	0.9	97.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○債券市況

各国の政治・財政状況といった個別要因に加えて、米国の金融政策正常化への思惑を受けて金利は上昇する国が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、2015年6月の総選挙で与党が過半数の議席を獲得できず、政治的不透明感の高まりから金利は上昇しました。南アフリカでは、中央銀行が将来のインフレ率上昇に警戒的な姿勢を示したことから利上げ観測が浮上し、金利は上昇しました。ポーランドでは、2015年3月の金融政策決定会合で利下げサイクルの休止を表明したことから金利は上昇しました。

・アジア地域

インドネシアでは、経済成長が緩慢となるとの見方やインフレ圧力の高まりから金利上昇となりました。タイでは、利下げが行なわれたことから金利は低下しました。マレーシアでは、原油価格の下落が一服したのにあわせて金利も緩やかに低下しました。

・中南米地域

ブラジルでは、インフレへの警戒から政策金利の引上げが行なわれたことから金利は上昇しました。メキシコでは、米国債券市場の影響を受けて金利は上昇しました。ペルーでは、インフレの上昇を受けて金利は上昇しました。

○為替相場

新興国からの資金流出への懸念を背景に、対円で下落する通貨が多くなりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

政治的不透明感の高まりが嫌気されたトルコ・リラ、電力不足懸念や外部要因の影響を受けた南アフリカ・ランドが対円で下落しました。ポーランド・ズロチは、追加利下げ期待が後退したことや経済的結びつきの強いユーロの影響を受けて対円で上昇しました。

・アジア地域

経済成長の減速懸念が高まったインドネシア・ルピア、格下げ懸念が嫌気されたマレーシア・リングgitは対円で下落しました。タイ・バーツは、対円では一進一退の推移となりました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、国営石油会社ペトロブラスに関わる汚職問題や財政悪化懸念から対円で下落しました。メキシコ・ペソは、主要輸出品目である原油の価格や海外市場のセンチメントに左右されつつ対円で下落しました。ペルー・ソルは、中央銀行の介入もあったことから対円では一進一退の推移となりました。

○為替ボラティリティ相場

当作成期間を通して、ギリシャの債務問題やFOMC（米国連邦公開市場委員会）の利上げをめぐる動向に左右され、新興国通貨のインプライド・ボラティリティ（※）は一定のレンジ中での変動を繰り返す展開となりました。多くの通貨の対円での変動が緩やかであったことから、受取オプションプレミアムの水準は横ばいで推移しました。しかし、ブラジル・レアルは国内の政治不透明感や中央銀行の明らかな通貨安助長により対円で大きく下落するなど、高いボラティリティ水準での推移が続き、受取オプションプレミアムは他の新興国通貨に比べ高い水準になりました。

（※）オプションプレミアムが織込んでいる新興国通貨の対円為替レートの予想変動率で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。

前作成期間末における「今後の運用方針」

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引続き、クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）（以下「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略（新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当期間を通じてエマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

○エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

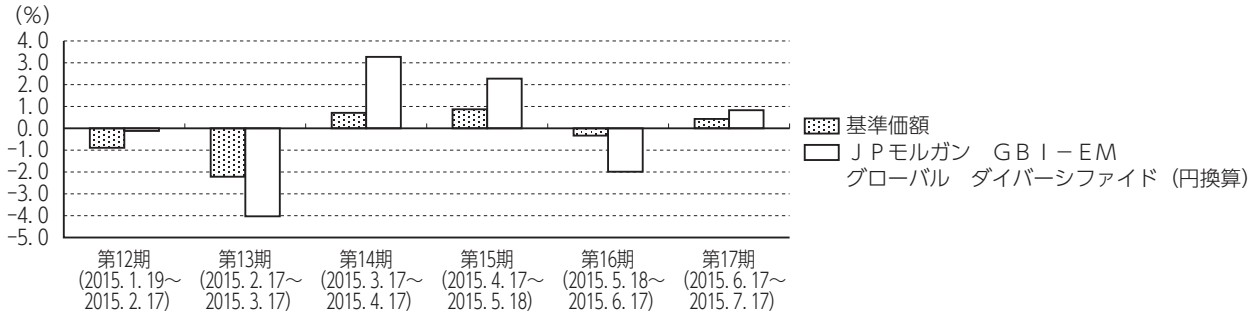
- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブル、ポーランド・ズロチ、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リンギット、タイ・バーツ、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで2.0（年）～2.5（年）程度としました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。
- ・通貨カバードコール戦略（新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第12期から第17期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ100円といたしました。
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
	2015年1月20日 ～2015年2月17日	2015年2月18日 ～2015年3月17日	2015年3月18日 ～2015年4月17日	2015年4月18日 ～2015年5月18日	2015年5月19日 ～2015年6月17日	2015年6月18日 ～2015年7月17日
当期分配金（税込み）（円）	100	100	100	100	100	100
対基準価額比率（%）	1.03	1.06	1.06	1.07	1.08	1.09
当期の収益（円）	79	73	76	93	71	85
当期の収益以外（円）	20	26	23	6	28	14
翌期繰越分配対象額（円）	136	110	86	80	51	37

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
(a) 経費控除後の配当等収益	79.86円	73.85円	76.28円	93.90円	71.10円	85.38円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	7.96	8.51	8.80	8.97	9.29	9.98
(d) 分配準備積立金	148.61	127.98	101.58	77.70	71.36	42.18
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	236.43	210.35	186.67	180.57	151.76	137.55
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	136.43	110.35	86.67	80.57	51.76	37.55

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引続き、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

○ダイワ・マネー・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第12期～第17期		項 目 の 概 要
	(2015. 1. 20～2015. 7. 17)		
	金 額	比 率	
信託報酬	53円	0. 567%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 428円です。
(投信会社)	(15)	(0. 158)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(37)	(0. 396)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	8	0. 078	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(投資信託受益証券)	(8)	(0. 078)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	61	0. 649	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

（2015年1月20日から2015年7月17日まで）

決算期	第12期～第17期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国 (邦貨建)	千口 10,960.936	千円 1,029,556	千口 78,089.111	千円 7,385,200

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

（2015年1月20日から2015年7月17日まで）

第12期～第17期				第17期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS (ケイマン諸島)	78,089.111	7,385,200	94

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第12期～第17期）中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2015年1月20日から2015年7月17日まで）

区分	第12期～第17期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 38,139	百万円 1,999	% 5.2	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	1,398,017	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.7%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期間中における売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第12期～第17期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 17 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS	161,593.059	14,845,877	97.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年7月17日現在

項 目	第 17 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	14,845,877	95.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	200,157	1.3
コール・ローン等、その他	428,687	2.8
投資信託財産総額	15,474,721	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第11期末	第 17 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	196,290	196,290	200,157

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2015年2月17日)、(2015年3月17日)、(2015年4月17日)、(2015年5月18日)、(2015年6月17日)、(2015年7月17日) 現在

項 目	第12期末	第13期末	第14期末	第15期末	第16期末	第17期末
(A) 資産	20,802,581,635円	19,201,735,436円	18,092,740,933円	17,292,918,210円	16,131,498,742円	15,474,721,849円
コール・ローン等	506,762,327	516,098,522	254,173,201	690,452,035	463,098,167	428,687,296
投資信託受益証券 (評価額)	20,095,681,929	17,886,699,536	17,039,630,353	16,402,309,167	15,468,243,567	14,845,877,545
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	200,137,379	200,137,379	200,137,379	200,157,008	200,157,008	200,157,008
未収入金	—	598,799,999	598,800,000	—	—	—
(B) 負債	421,219,827	682,836,325	561,983,411	560,552,870	296,828,295	243,910,221
未払金	—	299,400,000	299,400,000	—	—	—
未払収益分配金	211,208,494	198,358,627	188,454,856	180,255,855	173,018,327	167,531,316
未払解約金	189,759,402	167,277,030	55,835,011	362,733,509	107,491,681	60,787,092
未払信託報酬	20,111,630	17,538,022	17,905,988	17,056,962	15,702,207	14,871,989
その他未払費用	140,301	262,646	387,556	506,544	616,080	719,824
(C) 純資産総額 (A - B)	20,381,361,808	18,518,899,111	17,530,757,522	16,732,365,340	15,834,670,447	15,230,811,628
元本	21,120,849,445	19,835,862,716	18,845,485,668	18,025,585,550	17,301,832,765	16,753,131,660
次期繰越損益金	△ 739,487,637	△ 1,316,963,605	△ 1,314,728,146	△ 1,293,220,210	△ 1,467,162,318	△ 1,522,320,032
(D) 受益権総口数	21,120,849,445□	19,835,862,716□	18,845,485,668□	18,025,585,550□	17,301,832,765□	16,753,131,660□
1万口当り基準価額 (C/D)	9,650円	9,336円	9,302円	9,283円	9,152円	9,091円

*第11期末における元本額は23,194,826,107円、当作成期間 (第12期～第17期) 中における追加設定元本額は479,490,073円、同解約元本額は6,921,184,520円です。

*第17期末の計算口数当りの純資産額は9,091円です。

*第17期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,522,320,032円です。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

■損益の状況

項 目	第12期 自 2015年 1月20日 至 2015年 2月17日 第13期 自 2015年 2月18日 至 2015年 3月17日	第13期	第14期 自 2015年 3月18日 至 2015年 4月17日 第15期 自 2015年 4月18日 至 2015年 5月18日	第15期	第16期 自 2015年 5月19日 至 2015年 6月17日 第17期 自 2015年 6月18日 至 2015年 7月17日	第17期
(A) 配当等収益	188,922,510円	164,154,050円	161,788,870円	186,432,980円	138,833,657円	158,023,769円
受取配当金	188,907,818	164,138,481	161,773,986	186,417,744	138,821,334	158,010,659
受取利息	14,692	15,569	14,884	15,236	12,323	13,110
(B) 有価証券売買損益	△ 355,418,863	△ 570,496,366	△ 18,979,991	△ 24,702,880	△ 176,006,298	△ 77,150,419
売買益	22,095,272	10,694,258	7,744,420	4,483,866	2,525,483	9,078,876
売買損	△ 377,514,135	△ 581,190,624	△ 26,724,411	△ 29,186,746	△ 178,531,781	△ 86,229,295
(C) 信託報酬等	△ 20,251,931	△ 17,660,367	△ 18,030,898	△ 17,175,950	△ 15,811,743	△ 14,975,733
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 186,748,284	△ 424,002,683	△ 124,777,981	△ 144,554,150	△ 52,984,384	△ 65,897,617
(E) 前期繰越損益金	△ 346,238,837	△ 696,276,088	△ 1,249,654,133	△ 1,253,442,287	△ 1,233,223,000	△ 1,403,653,481
(F) 追加信託差損益金	4,707,978	1,673,793	△ 1,397,138	△ 4,076,218	△ 7,936,607	△ 17,032,852
(配当等相当額)	(16,817,573)	(16,885,251)	(16,590,321)	(16,177,128)	(16,086,303)	(16,724,785)
(売買損益相当額)	(△ 12,109,595)	(△ 15,211,458)	(△ 17,987,459)	(△ 20,253,346)	(△ 24,022,910)	(△ 33,757,637)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 528,279,143	△ 1,118,604,978	△ 1,126,273,290	△ 1,112,964,355	△ 1,294,143,991	△ 1,354,788,716
(H) 収益分配金	△ 211,208,494	△ 198,358,627	△ 188,454,856	△ 180,255,855	△ 173,018,327	△ 167,531,316
次期繰越損益金 (G + H)	△ 739,487,637	△ 1,316,963,605	△ 1,314,728,146	△ 1,293,220,210	△ 1,467,162,318	△ 1,522,320,032
追加信託差損益金	4,707,978	1,673,793	△ 1,397,138	△ 4,076,218	△ 7,936,607	△ 17,032,852
(配当等相当額)	(16,817,573)	(16,885,251)	(16,590,321)	(16,177,128)	(16,086,303)	(16,724,785)
(売買損益相当額)	(△ 12,109,595)	(△ 15,211,458)	(△ 17,987,459)	(△ 20,253,346)	(△ 24,022,910)	(△ 33,757,637)
分配準備積立金	271,343,952	202,011,368	146,750,923	129,064,843	73,474,499	46,197,390
繰越損益金	△ 1,015,539,567	△ 1,520,648,766	△ 1,460,081,931	△ 1,418,208,835	△ 1,532,700,210	△ 1,551,484,570

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
(a) 経費控除後の配当等収益	168,673,055円	146,498,164円	143,762,444円	169,261,710円	123,026,607円	143,052,362円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	16,817,573	16,885,251	16,590,321	16,177,128	16,086,303	16,724,785
(d) 分配準備積立金	313,879,391	253,871,831	191,443,335	140,058,988	123,466,219	70,676,344
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	499,370,019	417,255,246	351,796,100	325,497,826	262,579,129	230,453,491
(f) 分配金	211,208,494	198,358,627	188,454,856	180,255,855	173,018,327	167,531,316
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	288,161,525	218,896,619	163,341,244	145,241,971	89,560,802	62,922,175
(h) 受益権総口数	21,120,849,445□	19,835,862,716□	18,845,485,668□	18,025,585,550□	17,301,832,765□	16,753,131,660□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期
	100円	100円	100円	100円	100円	100円
(単 価)	(9, 650円)	(9, 336円)	(9, 302円)	(9, 283円)	(9, 152円)	(9, 091円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記()内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年1月19日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）」は10,046円です。」

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－
ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド
資産成長クラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド 資産成長クラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2015年7月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書

2014年5月31日

資産

損益通算公正価値金融資産	ドル	333,204,175
現金及び現金同等物		9,924,130
未収：		
売却済み有価証券		1,150
利息		5,706,592
前払報酬		14,960
総資産		<u>348,851,007</u>

負債

損益通算公正価値金融負債		645,341
未払：		
償還済みの受益証券		987,763
副投資運用会社報酬		349,184
報酬代理店報酬		104,751
保管報酬		85,743
専門家報酬		53,711
管理会社報酬		33,247
名義書き換え代理報酬		5,296
負債（買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産を除く）		<u>2,265,036</u>
買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産	ドル	<u>346,585,971</u>

包括利益計算書

2014年1月24日（業務開始日）～2014年5月31日

収益

利息	ドル	6,430,779
損益通算公正価値金融資産および負債による純実現損		(1,309,227)
損益通算公正価値金融資産および負債による評価益の純変動		14,375,999
外国為替換算による評価益の純変動		60,897
収益合計		<u>19,558,448</u>

費用

副投資運用会社報酬		349,184
報酬代理店報酬		211,192
保管報酬		183,103
管理会社報酬		69,823
専門家報酬		53,711
名義書き換え代理報酬		11,637
費用合計		<u>878,650</u>

金融費用控除前営業利益

18,679,798

金融費用

買戻償還可能受益証券保有者に対する分配金		<u>(11,941,411)</u>
----------------------	--	---------------------

分配金控除後税引前利益

6,738,387

源泉徴収税		<u>(88,547)</u>
-------	--	-----------------

業務活動の結果生じた買戻償還可能受益証券保有者帰属純資産の増加額

ドル 6,649,840

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマーゼィング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド 資産成長クラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスに共通です。

（注）2015年7月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

投資明細 2014年5月30日

債券

ブラジル

NOTA DO TESOIRO 10% 1/1/17 /BR	ドル	8,941,521.59
NOTA DO TESO 10% 01/01/18/BRL/		6,615,514.59
LETRA TESOUR ZCP 01/01/16/BRL/		7,488,758.61
LETRA TESOUR ZCP 07/01/15/BRL/		7,936,773.59
LETRA TESOUR ZCP 07/01/17/BRL/		7,890,974.34
ブラジル計		<u>38,873,542.72</u>

インドネシア

INDONESIA G 9.5% 06/15/15/IDR/		17,627,408.99
INDONESIA 10.75% 05/15/16/IDR/		4,085,653.10
INDONESIA 7.375% 09/15/16/IDR/		12,419,700.21
INDONESIA 7.875% 04/15/19/IDR/		2,592,719.49
インドネシア計		<u>36,725,481.79</u>

マレーシア

MALAYSIA 4.262% 09/15/16/MYR/		6,332,785.56
MALAYSIA 3.741% 02/27/15/MYR/		7,814,091.19
MALAYSIA 4.012% 09/15/17/MYR/		6,306,342.98
MALAYSIA 3.197% 10/15/15/MYR/		7,782,889.82
MALAYSIA 3.172% 07/15/16/MYR/		7,760,652.04
マレーシア計		<u>35,996,761.59</u>

メキシコ

MEX BONOS DES 8% 12/17/15/MXN/		8,254,481.87
MEX BONOS 7.25% 12/15/16/MXN/		4,179,647.98
MEX BONOS DES 6% 06/18/15/MXN/		7,956,078.80
MEX BONOS D 6.5% 06/09/22/MXN/		8,202,090.38
MEX BONOS 6.25% 06/16/16/MXN/		8,124,443.41
メキシコ計		<u>36,716,742.44</u>

オランダ

BK NEDERLAN 0.5% 06/22/16/TRY/		14,170,007.88
オランダ計		<u>14,170,007.88</u>

ペルー	
PERU BONO 9.91% 05/05/15/PEN/	19,064,498.64
PERU BONO SOB 8.6% 8/12/17	12,280,975.61
PERU BONO 7.84% 08/12/20/PEN/	4,127,371.27
ペルー計	<u>35,472,845.52</u>
ロシア	
RUSSIA GOV 6.88% 07/15/15/RUB/	5,674,816.92
RUSSIA GOV 7.35% 01/20/16/RUB/	5,674,128.37
RUSSIA GOVT B 7% 06/03/15/RUB/	5,691,456.93
RUSSIA GOVT 6.9% 08/03/16/RUB/	5,594,485.85
RUSSIA GOVT 7.4% 4/19/17/RUB/	8,434,763.27
RUSSIA GOVT 6.2% 01/31/18/RUB/	5,381,034.69
ロシア計	<u>36,450,686.03</u>
南アフリカ	
REPUBLIC O 13.5% 09/15/15/ZAR/	25,561,592.06
REPUBLIC O 8.25% 09/15/17/ZAR/	4,848,045.35
REPUBLIC OF S 8% 12/21/18/ZAR/	4,804,960.43
南アフリカ計	<u>35,214,597.84</u>
国際機関債	
IFFIM 6.1% 09/29/16/ZAR/	3,134,002.60
国際機関債計	<u>3,134,002.60</u>
タイ	
THAILAND 4.875% 06/22/29/THB/	6,790,374.66
THAILAND 3.625% 05/22/15/THB/	6,180,042.64
THAILAND G 3.25% 06/16/17/THB/	6,230,813.28
THAILAND 3.875% 06/13/19/THB/	3,151,169.66
THAILAND 3.125% 12/11/15/THB/	12,368,833.38
タイ計	<u>34,721,233.62</u>
トルコ	
TURKEY GOVER 10% 06/17/15/TRY/	7,280,823.23
TURKEY GOVERN 9% 03/08/17/TRY/	4,849,107.06
TURKEY GOVE 6.3% 02/14/18/TRY/	6,668,417.53
TURKEY GOVERN 5% 05/13/15/TRY/	6,929,925.51
トルコ計	<u>25,728,273.33</u>
債券計	<u>333,204,175.36</u>

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2014年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2015年7月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を29ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

(2015年1月20日から2015年7月17日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
520 国庫短期証券 2015/6/22	3,499,975		
541 国庫短期証券 2015/9/28	2,499,997		
521 国庫短期証券 2015/6/29	2,439,900		
509 国庫短期証券 2015/5/7	2,000,000		
510 国庫短期証券 2015/5/12	2,000,000		
532 国庫短期証券 2015/8/17	2,000,000		
542 国庫短期証券 2015/10/5	2,000,000		
538 国庫短期証券 2015/9/14	1,999,998		
540 国庫短期証券 2015/9/24	1,999,998		
500 国庫短期証券 2015/3/23	1,999,996		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年7月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（21,201,644千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2015年7月17日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 15,000,000	千円 14,999,983	%	%	%	%	%
			69.4	—	—	—	69.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年7月17日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	532 国庫短期証券	—	千円 2,000,000	千円 2,000,000	2015/08/17	
	534 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,998	2015/08/24	
	535 国庫短期証券	—	2,000,000	1,999,990	2015/08/31	
	536 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,000	2015/09/07	
	538 国庫短期証券	—	2,000,000	1,999,998	2015/09/14	
	540 国庫短期証券	—	2,000,000	1,999,998	2015/09/24	
	541 国庫短期証券	—	2,500,000	2,499,997	2015/09/28	
	542 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,000	2015/10/05	
合 計	銘 柄 数	8銘柄				
	金 額		15,000,000	14,999,983		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第10期 (決算日 2014年12月9日)

(計算期間 2013年12月10日～2014年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第10期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

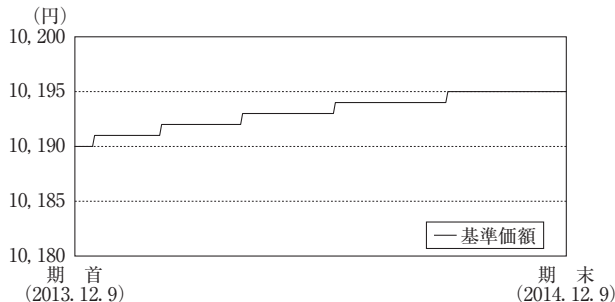
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組入比率
	円	騰 落 率 %	
(期首)2013年12月9日	10,190	—	63.2
12月末	10,191	0.0	60.2
2014年1月末	10,191	0.0	89.9
2月末	10,192	0.0	72.7
3月末	10,192	0.0	72.7
4月末	10,193	0.0	77.5
5月末	10,193	0.0	70.4
6月末	10,194	0.0	66.7
7月末	10,194	0.0	69.9
8月末	10,194	0.0	65.1
9月末	10,195	0.0	58.8
10月末	10,195	0.0	60.7
11月末	10,195	0.0	63.8
(期末)2014年12月9日	10,195	0.0	60.0

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,190円 期末：10,195円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買い入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

国 内	国 債 証 券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		41,597,114	(35,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

当 期		期 末	
買 付	売 付	買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
490 国庫短期証券 2015/2/9	11,999,832		
473 国庫短期証券 2014/11/17	1,499,994		
479 国庫短期証券 2014/12/15	1,499,985		
463 国庫短期証券 2014/10/6	1,499,868		
461 国庫短期証券 2014/9/22	1,499,865		
459 国庫短期証券 2014/9/16	1,499,857		
465 国庫短期証券 2014/10/14	1,399,910		
439 国庫短期証券 2014/6/23	1,399,867		
444 国庫短期証券 2014/7/14	1,399,830		
422 国庫短期証券 2014/4/14	1,399,778		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債(種類別)

区 分	当 期		期 末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率	
	千円	千円	%	%	%	%
国債証券	15,400,000	15,399,872	60.0	—	—	60.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

区 分	当 期		期 末		償還年月日
	銘 柄	年 率	額面金額	評価額	
		%	千円	千円	
国債証券	479 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,998	2014/12/15
	482 国庫短期証券	—	1,000,000	999,997	2015/01/08
	490 国庫短期証券	—	12,000,000	11,999,889	2015/02/09
	493 国庫短期証券	—	900,000	899,986	2015/02/23
合計	銘柄数 金額	4銘柄	15,400,000	15,399,872	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	15,399,872	60.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 , そ の 他	10,253,640	40.0
投 資 信 託 財 産 総 額	25,653,512	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	25,653,512,783円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	10,253,640,160
公 社 債 (評価額)	15,399,872,623
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	25,653,512,783
元 次 期 繰 越 損 益 本 金	25,162,158,471
(D) 受 益 権 総 口 数	491,354,312
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	25,162,158,471円 10,195円

* 期首における元本額は13,660,921,100円、当期中における追加設定元本額は25,556,652,335円、同解約元本額は14,055,414,964円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ/RICI[®]コモディティ・ファンド8,952,508円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)740,564円、US債券NB戦略ファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)1,623,350円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、ダイワファンドラップコモディティセレクト23,865,228円、ダイワ米国株ストラテジーa(通貨選択型)トリプルリターンズ-日本円・コース(毎月分配型)132,757円、ダイワ米国株ストラテジーa(通貨選択型)トリプルリターンズ-豪ドル・コース(毎月分配型)643,132円、ダイワ米国株ストラテジーa(通貨選択型)トリプルリターンズ-ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーa(通貨選択型)トリプルリターンズ-米ドル・コース(毎月分配型)12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド-パラダイムシフト-49,096,623円、ダイワFEグローバル・バリューファンド(ダイワSMA専用)13,896,435円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)日本円・コース(毎月分配型)23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)米ドル・コース(毎月分配型)2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)豪ドル・コース(毎月分配型)13,761,552円、ダイワ/UBSエマージングCBファンド2,498,575円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド14,780,160円、ダイワ日本リート・ファン・ポートフォリオ134,197,158円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスII-金積立型-1,972,537円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド(償還条項付き)為替ヘッジあり4,926,716円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(資産成長コース)49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド(通貨aコース)196,290,094円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命-(為替ヘッジあり)9,813,543円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命-(為替ヘッジなし)29,440,629円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)日本円コース3,874,449円、ダイワ米国MLPファンド(毎月分配型)通貨aコース13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインa(毎月分配型)98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ74,252,220円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)トルコ・リラ・コース(毎月分配型)2,554,212円、ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株a(毎月分配型)株式aコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株a(毎月分配型)通貨aコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株a(毎月分配型)株式&通貨ツインaコース982,029円、プルベア・マネー・ポートフォリオIII 24,367,381,676円、ダイワ米国株ストラテジーa(通貨選択型)トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース(毎月分配型)98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,195円です。

■損益の状況

当期 自2013年12月10日 至2014年12月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	6,254,653円
受 取 利 息	6,254,653
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,634
売 買 益	1,634
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	6,256,287
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	259,898,412
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 271,101,052
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	496,300,665
(G) 合 計 (C + D + E + F)	491,354,312
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	491,354,312

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。